

久地「かすみ提」を残そう

経緯

2007年に請願採択

私たちはこの土地を防災緑道公園として整備するよう川崎市議会に請願をしました。この請願は2007年10月4日市議会本会議で全会一致採択されました。

市の実行計画に

そこで、川崎市は予算付けを行い、かすみ提の保全活用に向けた検討を開始しました。

注「二ヶ領用水から多摩川にいたる歴史的・文化的資源との連携を図る水と緑のネットワーク軸として保全・活用をめざします」(総合計画第3期実行計画)

区は保全に向けて検討

市民参加のワークショップや歩く会、講演会などを催し、「かすみ提」保全に向け検討を続けてきました。高津区「エコシティたかつ推進会議」も「円筒分水・かすみ提を生かした『緑の回廊』作りの推進」を方針化しています。

しかし買収の予算化は進んでいません。

国は早く売りたい…

国土交通省 京浜河川事務所は「5年も待ったのに、川崎市からは意思表示がない。国からは早く売れと言われているし、もう売るしかない」と今年の私たちとの交渉でもらしています。このままでは、民間に払い下げられてマンションが建ってしまいます

防災の空地としても

この堤防は、大正時代に拡張、改修されて「その最下層には、古の治水工法が眠っている可能

性も考えられる」と「地域資源活用方策検討基礎調査」(川崎市平成21年3月発行)でも図を示して指摘しています。今はあとかたもない「久地横土手」(1710年頃)と同時代につくられた堤防であるともいわれ、治水の歴史を語る貴重な土木遺産です。

「かすみ提」は 町会での花見や祭り、子ども会の餅つきと様々な行事に活用しており、地域環境や防災の上からもなくてはならない貴重な場所です。

再び請願書を提出

久地かすみ提の保全、整備を求める請願を

1543筆の署名と一緒に2月15日(金)川崎市議会事務局へ提出しました。

署名は1900筆を超えています。これからも署名は、審査の委員会前日まで受け付けます。街づくり委員会に

付託され審査の時期は早くても4月以降だそうです。



川崎市への請願項目

- 1.かすみ提を治水の歴史を語る土木遺産として保全、整備し、貴重な歴史的・文化的資源として活用をはかること。
- 2.かすみ提を防災のための空地として、またコミュニティスペースとして市民に開放すること。

「かすみ提」を保存する会 代表 久郷則男
高津区久地 2-9-55 電話 044-822-4776
久地第2町会 会長 山本武彦
高津区久地 2-9-48 電話 044-822-9661